

| 教科                     | 国語   | 科目（単位数）   | 現代文B（文Ⅰ・文Ⅱ3、理系2） | 学年 | 3 | 類型                                     | 文理共通 |
|------------------------|--|---|------------------|----|---|--|------|
| 学習目標                   | ～論理的思考力に裏打ちされた分析的な読解力・的確な表現力を磨き、豊かな感性を身につける。～<br>（1）言語感覚を磨き、高度な語彙力を身につける。<br>（2）文章を分析的に読解する力をつける。<br>（3）感じたこと・考えたことを的確に表現する力をつける。<br>（4）話すこと・聞くことを中心としたコミュニケーション能力を高める。<br>（5）文学作品の鑑賞力を養い、豊かな感性を身につける。 |   |                  |    |   |  |      |
| 期間                     | 単元（学習内容）   | 学習の到達目標   |                  |    |   | 自己評価                                   |      |
| 年度初～<br>1学期<br>中間考査    | ①評論「市民社会化する家族」<br>今村仁司   | ①構成を意識した読みを身に付ける。<br>①筆者の論じた視点から現代社会のあり方を見つめ直し、人間への理解を深める。                                      |                  |    |   | 取組 A B C D<br>理解 A B C D<br>関心 A B C D |      |
| 1学期中間～<br>～期末考査        | ①随想「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」内田樹<br>②評論「実体の美と状況の美」<br>高階秀爾   | ①筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題として捉え直し、自己を見直す。<br>②「実体の美」「状況の美」の特徴をたどりながら日本人の美意識について考える。                  |                  |    |   | 取組 A B C D<br>理解 A B C D<br>関心 A B C D |      |
| 1学期期末～<br>～2学期<br>中間考査 | ①評論「『である』ことと『する』こと」丸山真男<br>②小説「檸檬」梶井基次郎  | ①文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や文章の内容を的確に捉える。<br>②登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。檸檬の描写、内的感覚をとらえ、表現を読み味わう。 |                  |    |   | 取組 A B C D<br>理解 A B C D<br>関心 A B C D |      |
| 2学期中間～<br>～期末考査        | ①評論「地球システムの中の人間」竹内啓<br>②評論「無常ということ」小林秀雄  | ①筆者の生態系のとらえ方について理解し、世界観・自然観などについて考えを深める。<br>②古典を題材とした評論を読み、歴史についての認識を深める。                       |                  |    |   | 取組 A B C D<br>理解 A B C D<br>関心 A B C D |      |
| 2学期期末～<br>～年度末         | 問題集を用いた演習  | ・より早く正確な文章内容把握、読解ができるようになる。   |                  |    |   | 取組 A B C D<br>理解 A B C D<br>関心 A B C D |      |
| 使用教材<br>(教科書・副教材)      | ・「精選 現代文B 新訂版」（大修館書店）・「新訂総合国語便覧」（第一学習社）・<br>「意味から学ぶ頻出漢字3000」（第一学習社）・「現代文単語 げんたん」（いづな書店）・週末課題等「入試につながる現代文」（ランズ）・センター過去問10年分（尚文出版）   |   |                  |    |   |  |      |
| 学習方法                   | ・黙読する。・音読する。・語彙を広げるため辞書を引く。<br>・内容ごとにまとまりを意識し、各展開における具体例と筆者の主張との関係を捉える。<br>・抽象的な表現に注目し、平易な表現に言い換える。<br>・筆者の主張を踏まえて、意見交換を行い、社会や人間のありようを捉え直す。<br>・作品中に表われる人間関係に触れ、それぞれの立場から他者との関わりを疑似体験する。               |   |                  |    |   |  |      |
| 評価方法                   | 提出物による評価を2割、考査による評価を8割で総合的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。  |   |                  |    |   |  |      |